

宇都宮観光コンベンション協会 中期経営計画

I 組織の概要

平成22年4月1日現在

1. 団体の基礎情報											
所在地	宇都宮市中央3丁目1番4号					設立年月	平成12年4月1日				
市所管課	観光交流課					代表者	会長 築 郁夫				
ホームページアドレス	http://www.utsunomiya-cvb.org										
基本財産（資本金）				主な出資者			出資額			出資割合	
市出資額											
市出資割合											
設立目的等	宇都宮市及び栃木県内に有する自然環境及び文化的・社会的・経済的特性を生かし、観光客、コンベンションの誘致等を行うことにより、市における観光及びコンベンションの振興を図り、地域経済の活性化及び文化の向上に資する。										
主な事業	1. 誘致宣伝事業 2. 観光推進事業 3. コンベンション推進事業										
2. 団体の組織・人員情報											
役員数	役員数	理事	常勤 (正規)	0	0	0	嘱託・ 臨時等	27	0	計	27
		監事		0	0	0		2	0		2
	職員数			*6	0	1		10	0		16
	計			6	0	1		39	0		合計
※括弧内の人数は、役員と職員を兼務している者の人数を表しています。											
常勤役員の平均年齢（歳）	—		常勤役員の平均年収（千円）	0		情報公開制度の有無	×				
常勤職員の平均年齢（歳）	49.0		常勤職員の平均年収（千円）	6,310		個人情報保護体制の有無	○				
3. 財務状況											
貸借対照表から	項目	金額（千円）			備考						
		20年度決算	21年度決算	22年度予算							
	総資産	29,104	30,947	32,848	退職積立金、特別事業積立金、車両購入積立金						
	負債	0	0	0	0						
	純資産 (うち利益剰余金)	29,104	30,947	32,848							
※一般財団等は、純資産を正味財産合計、利益剰余金を一般正味財産として読み替えています。											
損益計算書から	項目	金額（千円）			備考						
		20年度決算	21年度決算	22年度予算							
	総収入	63,396	66,413	68,263							
	(うち市補助金等)	53,332	52,860	51,876							
	(うち市委託料等)	0	3,983	5,626							
経常損益	0	0	0								
当期損益	3	3	0								
※一般財団等は、損益計算書を正味財産増減計算書、経常損益を当期経常増減額、当期損益を当期一般正味財産増減額として読み替えています。											
4. 経営改革に関する過去3年間（平成19年度～21年度）の主な取組											
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主財源確保のためバナー広告事業の実施 ・ ホスピタリティ強化のための「おもてなし推進事業」の実施 ・ 新規会員獲得のための企業訪問 ・ 協会ホームページでの会則、役員名簿、事業計画等の情報提供 											

* うち1名は商工会議所からの派遣

Ⅱ 基本方針

1. 方向性				
効率化・活性化	○	統合		縮小
2. 経営方針				
協会の設立目的を達成するために、関係機関や会員等との連携のもと、より効果的・効率的な事業を推進し、交流人口の拡大を図る。				
3. 経営課題				
協会を取り巻く環境の変化に的確に対応するため、組織体制のあり方を検討し、効率的な執行体制の確立に努める必要がある。 経営基盤の安定と事業活動の充実のため、会員の拡大、バナー広告収入の増加、新たな収入源の検討などにより自主財源の増加を図る必要がある。				

Ⅲ 重点取組

1. 事業の充実・強化									
No	取組項目	現状	目標	スケジュール					
				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
1	事業評価システム導入の検討・実施	21年度末 未実施	23年度 実施	検討	実施				→
2	効果的・効率的な事業による交流人口の拡大	21年度 市内開催コンベンション参加者数 536,327人	26年度 市内開催コンベンション参加者数 555,000人	実施					→
2. 経営の強化・効率化									
No	取組項目	現状	目標	スケジュール					
				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
3 (共)	市からの補助金・負担金の適正化	21年度決算 52,860千円	職員の適正配置等を踏まえた補助金の適正化	実施					→
4	会員数の拡大	21年度末 正会員 181件	26年度末 正会員 200件	実施					→
3. 組織・人員体制の強化									
No	取組項目	現状	目標	スケジュール					
				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
5 (共)	常勤役職員数の適正化（派遣等を除く。）	22年4月1日現在 4人体制	現状維持	維持					→
4. 情報提供の充実等									
No	取組項目	現状	目標	スケジュール					
				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
6	ホームページによる情報提供の充実	21年度 アクセス数 1,456千件	26年度 アクセス数 1,600千件	実施					→

Ⅳ 取組内容

1. 事業の充実・強化

No	1				
改革項目	事業評価システム導入の検討・実施				
現状	21年度末 未実施	目標	23年度 実施		
取組	取組内容		取組スケジュール		
			22年度	23年度	24年度
先進事例の調査	事業評価システムの導入に向け、先進事例の調査し、協会にふさわしいシステムを検討する。		検討	実施	→

No	2				
改革項目	効果的・効率的な事業による交流人口の拡大				
現状	21年度市内開催コンベンション参加者数 536,327人	目標	26年度 市内開催コンベンション参加者数 555,000人		
取組	取組内容		取組スケジュール		
			22年度	23年度	24年度
コンベンションサービスの強化	コンベンション開催情報を収集し、主催者に対して積極的に誘致活動を行い、コンベンションの開催につなげる。		実施		→
誘致宣伝事業の強化	首都圏でのイベント等に積極的に参加して、観光等PRを行い、観光客の増加に努める。		実施		→

2. 経営の強化・効率化

No	3				
改革項目	市からの補助金・負担金の適正化				
現状	21年度決算 52,860千円	目標	職員の適正配置等を踏まえた補助金の適正化		
取組	取組内容		取組スケジュール		
			22年度	23年度	24年度
給与水準の適正化の推進	民間や市などの給与水準を考慮し、市民や利用者から理解が得られるよう、給料表や諸手当について、継続的な見直しを行う。		実施		→
新たな収入源の検討	新たな収入源としてパンフレット等への広告掲載による広告収入などの自主財源の検討を行う。		検討	実施	→

No	4				
改革項目	会員数の拡大				
現状	21年度末 正会員181件	目標	26年度末 正会員200件		
取組	取組内容		取組スケジュール		
			22年度	23年度	24年度
会員サービスの充実	ホームページによる会員PRの掲載のほか会員にメリットのある事業の充実を図る。		実施		→
企業訪問の実施	関係団体等と連携し、新規会員の獲得を図るため会社訪問を実施する。		実施		→

3. 組織・人員体制の強化

No	5				
改革項目	常勤役員数等の適正化（派遣等を除く。）				
現状	22年4月1日現在 4人体制	目標	現状維持		
取組	取組内容		取組スケジュール		
			22年度	23年度	24年度
効率的な業務執行体制の確立	協会を取り巻く環境の変化に的確に対応するため、組織体制のあり方を検討し、効率的な執行体制の確立に努める。		検討		→

